

コミュニティ・スクールだより



令和8年6月24日

6月13日(土)学校公開に併せて、第2回学校運営協議会を開催しました。協議会の内容とコミュニティ・スクールの取組を紹介します。

(1) 文部科学省教育課程柔軟化サキドリ研究校の取組について

令和8年度から、文部科学省教育課程柔軟化サキドリ研究校に指定され取組を始めています。次期学習指導要領に盛り込まれる「調整授業時数制度」を先取りして試行して研究していきます。本校では、児童の学習の素地を高める取り組みや異学年交流、学習の素地を高める取組を行う「みんなの時間」。質の高い授業を効果的に実施するための教材研究、授業研究等を行う「先生の時間」を設定しています。この活動については、随時本校ホームページで紹介していきます。

(2) 道德教育の取組について

当日に実施した学校公開について委員の皆様からご意見・ご感想をいただきました。

- ・たくさんの保護者が来ていた。昨年度より日常の授業の様子がたくさん見られた。
- ・先生方が道德で「アンコンシャスバイアス」という難しいテーマを、こどもたちに分かるように工夫して教えていた。
- ・先生方が、こどもたちを授業に集中できるように様々な技術を使っているのが分かった。

学校公開後の保護者アンケートにもたくさんの回答をいただきました。皆様のご意見を今後の指導に生かしていきます。

(3) 熱中症対策システムの設置について

大田区では今夏から、区内34の小中学校で、気温や湿度などを基にした「暑さ指数」を自動で計測するシステムの実証実験を行うことになり、本校にも熱中症対策システムを設置しています。校庭と体育館の暑さ指数を24時間モニタリングし、各教員のタブレット端末でいつでもこのシステムを確認できるようになりました。こどもたちが安全に活動できるようこのシステムを活用します。

活動報告

6月17日(水) 道德授業地区公開講座

「よりよい未来の創造と道德性を育成する意義」小玉 重夫 先生

本校教員と保護者の皆様で講演を伺いました。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。これからの時代に必要な「エージェンシー」(よりよい社会を自ら考え、行動し、変革していく力。自分たちで未来をつくる力)を育成するために大切なことについて教えていただきました。

(参加者の感想より)

- ・子どもたちが自分から働きかけたり、型を作ったり、責任をもった判断や選択を行うことができるように、学校での教育を通して育てていく必要があるということが分かりました。子どもたちも世界と共に生きる主体であると認識し、一緒に世界を作っていきたいと思いました。
- ・貴重なお話ありがとうございました。日頃からこどもには主体性をもってほしいと思っていましたが、エージェンシーという概念を初めて知り、とても興味深くお話伺いました。日常に追われていましたが、もっと家族で話をしようと思いました。